

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

第 1 推薦	2 東京書籍
第 2 推薦	38 光村図書

中学校 道徳 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	<p>オリエンテーションのタイトル「道徳の授業はこんな時間に」とし、巻頭折り込み 3 ページで学習の流れを、また、1 ページを使い「話し合いの手引き」を示している。全学年「1 年間で学ぶこと」と、見開き 2 ページで 4 つの視点を示し、頑張りたいことを書く欄を設けている。</p> <p>主題名は教材名横に大きく、また色別の 4 つの視点の枠内にマークと内容項目を教材名横に示している。</p> <p>発問は、教材文の後に「考えてみよう！」と表示し、2～3 示している。</p>
	観点 2	<p>教材に関連した体験的な学習（動作や演技等）を促す教材（各学年 2 回）を掲載するとともに、教材の終わりには毎回、問題解決的な学習を進めるためのコーナーを設けている。さらに、他教科との関連や、動画資料を活用できる場所をマークで示している。また、学習した教材に関わる人物を知るための資料（各学年 1 回）を掲載している。</p>
	観点 3	<p>分量 A B 判 188～196 ページ。</p> <p>教材数 C 42 教材，その他 21 教材ずつ。</p> <p>現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を「いじめのない世界へ (1) (2)」を設け、複数教材をまとめている。</p>
	観点 4	<p>巻頭には、各学年「話し合いの手引き」「道徳の授業はこんな時間に」と折り込みページで示している。巻末には、各学年「テーマで振り返ろう」とし、6 つのテーマで教材を分類して示し、切り取り式のホワイトボード用紙や心情円を設けている。</p> <p>「アクション」「プラス」のマークや D マーク，教科関連マーク，キャラクター「考えタイガー」などを設定している。</p>
	観点 5	<p>「道徳の授業はこんな時間に」に、「話し合いの手引き」を示し，プロセスを示している。心に残った教材や授業で学んでよかったこと，来期の取り組み方を記録する振り返りの「自分の学びを振り返ろう」を設けている。</p>

11 学図	観点1	<p>オリエンテーションのタイトルは、「道徳の学習を始めよう！」とし、見開き2ページ下に3つの学習の流れを小さく示している。また、1年生では「聞こう・話そう さいころトーク」という学級開きのグループワークの活動を設けている。</p> <p>主題名は教材名の横にやや小さく、また色別の4つの視点のマークと内容項目を教材名横に示している。</p> <p>発問は、教材文の後に「学びに向かうために」として「考えよう」「意見交換」「見つめよう」と三つに分け、計3～4、示している。</p>
	観点2	<p>教材の終わりには毎回、問題解決的な学習や体験的な学習を進めるためのコーナーを設けている。道徳的価値について自分のこととして捉えることができるよう「心の扉」のページを設けるとともに、学期に1回の振り返りとして「学びの記録」のコーナーを設けている。</p>
	観点3	<p>分量A B判 226～230 ページ。</p> <p>教材数C48教材，A21教材，B及びD18教材ずつ。</p> <p>いじめの問題点を直接注目し，正対して取り組むことを考える教材と，いじめに転じかねない生徒の日常のあり方について着目する教材で構成している。</p>
	観点4	<p>巻頭には，各学年「心の扉」を4つの視点ごとに分類して示している。巻末には，「一年間の振り返り」を見開き1ページでもうけ，「保護者の方へこの教科書で目指すこと」を示している。</p> <p>10種類のポイントのマークを設定し，現代的な課題「社会を生きぬく」「命の尊厳」等を深く考えるポイントを示している。</p>
	観点5	<p>「学びに向かうために」のコーナーに，話し合いの発問がある。教材ごとに，思ったことや感じたことなどの学習の振り返りができる「学びの記録」を設けている。一年間の学習を振り返る欄「一年間の振り返り」を設けている。</p>
17 教出	観点1	<p>オリエンテーションのタイトルは，1年生は「中学生の道徳が始まる」（他年生は「〇年生の～」）とし，見開き2ページで道徳の学習で考える6つの内容に分け教材名とともに示している。1年生では「道徳ってどんなふうに学習したらいいの？」と，見開き2ページで学び方を示している。</p> <p>主題名は，教材名横に，4つの視点を表す色別の枠で示している。発問は，冒頭の教材名の下に一つ，また，教材文の後に「学びの道しるべ」として，三つ示している。</p>
	観点2	<p>教材に関連した体験的な学習を促すページ「やってみよう」（各学年1～2回）を掲載するとともに，教材の終わりには毎回，問題解決的な学習を進めるためのコーナーを設けている。また，巻末には「学びの記録」・「次年度への決意」・「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」を掲載している。</p>

17 教出	観点3	分量B5判184～200ページ。 教材数C44教材，その他18～21教材ずつ。 いじめ問題を直接的に扱った教材と，いじめを許さない心の育成を間接的に支えるための教材を選定している。
	観点4	巻頭には，「中学生の道徳が始まる」を見開き2ページで示している。 巻末には，各学年「都道府県にゆかりのある人物と，その言葉」を織り込みページで示している。 「学びの道しるべ」，「問い」「やってみよう」マークを示し，様々な角度から考え，体験的な学習を取り入れた活動を載せている。
	観点5	印象に残った教材を記録したり，新しい発見があった教材に色を塗ったりする欄「道徳の学びを記録しよう」を設けている。中学校の学習を終え，二十年後の自分の姿を記入する欄「そして，未来へ…」を設けている。
38 光村	観点1	オリエンテーションのタイトルは，1年生は「中学生の道徳が始まる」（他年生は「〇年生の～」）とし，見開き2ページで道徳の学習で考える6つの内容に分け教材名とともに示している。1年生では「道徳ってどんなふうに学習したらいいの？」と，見開き2ページで学び方を示している。 主題名は，教材名横に，4つの視点を表す色別の枠で示している。 発問は，教材文の後に「学びのテーマ」として1ページをあて，「考える視点」で三つ，教材により「見方を変えて」「つなげよう」として各1～2程度，計3～6示している。
	観点2	教材の終わりには毎回，「学びのテーマ」として，問題解決的な学習を進めるための考える観点を示している。また，複数の教材に関連した体験的な学習を促すページ（各学年7回）を「コラム」として設けている。また，巻末には「学びの記録」・「著名人からのメッセージ」等を掲載している。
	観点3	分量B5判229～237ページ。本書のページ数が最も多い。 教材数C36教材，A27・B24と最も多く取り扱っている。 いじめ問題を，様々な内容項目から解決に結ぶつく教材と，コラムを1つのユニットとして設け，「つなげよう」のコーナーが明記され，学年前半にある。
	観点4	巻頭には，各学年の目次の前に，詩を見開き2ページで掲載し，本書で学ぶ皆さんへ」を示している。巻末には，見開き2ページに各学年テーマ別教材一覧と「どうして『道徳』を学ぶんだろう？」を示している。 1年間を4つのシーズンに分け，教材やユニットのテーマと関連させ，教材の横に内容項目と色分けされた4つの視点が示されている。
	観点5	3年生では自分の将来を想像し，人生目標を年表に書く欄を設けている。シーズンごとの自分の学びの振り返り，自分の考えを書き留めるページを設けている。

116 日文	観点1	<p>オリエンテーションのタイトルは「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」を各1ページで示し、学び方を3つで示している。また、別冊「道徳ノート」の巻頭に「道徳ノートのとびら」を設け、4つの視点、内容項目を記載し、学びたいものに印をつけるようにしている。</p> <p>主題名は教材名の上に色別の4つの視点の枠にマークとともに記載され、文章で示しているものもある。</p> <p>発問は、教材文の後に「考えてみよう」「自分に+1」で一つずつの計二つ、また問題解決的な学習・体験的な学習では「学習の進め方」を見開き2ページで、計五つ程度示している。</p>
	観点2	<p>教材に関連した体験的な学習を促すページ「学習の進め方」やコラム「プラットホーム」(各学年6～7回)を掲載するとともに、教材の終わりには毎回、問題解決的な学習を進めるためのコーナーを設けている。その他、巻末に他教科との関連を一覧にしたページや、別添として「道徳ノート」(各学年1冊)が付属されている。</p>
	観点3	<p>分量B5判198ページと別冊42ページ、合計240ページ。</p> <p>教材数C45教材、その他18～21教材ずつ。</p> <p>いじめ問題を、直接的・間接的に扱った教材を、コラム「プラットホーム」をユニット化し、年間で複数配置している。</p>
	観点4	<p>巻頭には、各学年「この教科書で学ぶテーマ」を見開き2ページで示し、『いじめ』と向き合うのテーマには囲みがある。巻末には、各学年、内容項目別教材一覧等との関連等を記載している。</p> <p>問題解決的な学習などのマークを設定して、学習するなかで道徳的な問題をつかみ、その解決に向けて考えたり話したりできるようにしている。</p>
	観点5	<p>「道徳科での学び方」に、話し合いの具体的な状況を示している。「学習の進め方」に話し合う学習活動がある。別冊「道徳ノート」に、発問について書く欄があり、話し合いの内容をメモするページも6回分ある。また、このノートに授業で学んだことを振り返る欄や話し合いの内容をメモする欄や学習で印象に残ったことを記入する保護者記入欄付きの振り返りを設けている。</p>
224 学研	観点1	<p>オリエンテーションのタイトルは、1年生が「新しい扉を開く」(2年生「明日への扉」3年生「未来への扉」)とし、見開き2ページで学び方を4つで示している。また、「My Profile」を1ページ設け、自分を見つめる枠を設けている。</p> <p>主題名は、4つの視点を示す色線を教材名の上部に引いて示している。</p> <p>発問は、教材文の後に1～2示している。</p>
	観点2	<p>教材に関連した体験的な学習を促すページや、教材の終わりに問題解決的な学習を進めるためのコーナー「深めよう」を設けている。さらに日常生活につながる生き方の視点を示すため「クローズアップ」のコーナーを設けている。巻末には、他教科との関連を一覧にしたページが示されている。</p>

	観点3	分量A 4判 182～186 ページ。 教材数C37 教材，その他 22～24 教材ずつ。 いじめ問題を，直接的なテーマとしてとらえ議論できる教材と，様々な面から他者と共によりよく生きることを考え，議論できる教材を選定し，いじめに関する特設ページ「クローズアップ」を設けている。
	観点4	巻頭には，「よりよく生きるための 22 の鍵」を見開き 2 ページで示している。巻末には，各学年「心の四季」，第 3 学年には「未来への扉」を 1 ページで設けている。 「クローズアップ」，「クローズプラス」のマークを設けて，考え方の選択肢を広げたり，視点や内容項目の異なる関連情報ページを示し，視野を広げるようにしている。
	観点5	「新しい扉を開く」に，考えを深める四つのポイントを示している。「深めよう」のページを設定し，グループでの話し合いの流れがある。1 年間の自分の成長を振り返る「心の四季」を設けている。3 年生の巻末に，未来への自分に手紙を書く欄「未来への扉」を設けている。
232 廣あかつき	観点1	オリエンテーションのタイトルは 1 年生が「自分を見つめよう」，2 年生「自分を考えよう」，3 年生「自分をのぼそう」とし，見開き 2 ページで学び方を 5 つの視点で示している。また，別冊「中学生の道徳ノート」巻頭に「中学〇年生の私」を 1 ページ設けている。 主題名は，教材名上部に 4 つの視点を示す色別の枠で教材の番号を囲み，同様に教材名下に〇印の数で示している。 発問は，教材文の後に「学習の手がかり」というめあてとともに 2～3，「考えを広げる・深める」として 1～2 示している。
	観点2	教材の終わりには毎回，「考える・話し合う」として，問題解決的な学習や体験的な学習を促すための観点を示している。その他，別添として「道徳ノート」（各学年 1 冊）が付属され，その中で細かな学習の記録等が残せるように工夫されている。
	観点3	分量A B判 164～184 ページと別冊 68 ページ，合計 232～252 ページ。 教材数C36 教材で，A24・B21・D24 と均等配分。 いじめ問題を，直接的教材と，いじめを直接扱わない間接的教材を選定している。直接的教材の直後に，関連深い内容のコラム「thinking」を設定している。
	観点4	巻頭には，各学年，豊かな自己の形成のための段階を 1 ページで掲載している。別冊「道徳ノート」には，「心のしおり」を折り込みページで，「学習の記録」を 5 ページ等，設けている。 「thinking」マークなどを設け，教材文の終わりに先人や著名人の言葉を掲載している。
	観点5	別冊「中学生の道徳ノート」に記録を残す欄があり，心に残っている授業や話し合いの記録を残す欄を設け，また，学習の記録や自己評価，内容項目ごとの振り返りをする折り込みページも設けている。

233 日科	観点1	<p>オリエンテーションのタイトルは「道徳科って何を学ぶの?」とし、見開き2ページで5つの学び方を、「多様な考えを知るために」として6つの方法を示している。また「教科書の使い方」として5点を、自分を見つめる6項目とともに、1ページで示している。</p> <p>主題名は、教材名上部に、4つの視点を表す色別の枠内に内容項目の番号で示している。</p> <p>発問は、教材文の後に「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」と表示し、2～3示している。</p>
	観点2	<p>教材の終わりには毎回、問題解決的な学習を進めるための考える観点を示すコーナーや、体験的な学習を促すページを掲載している。また、巻末には「私の道徳記録」や「心の成長の記録」等を掲載し、1年間の振り返るためのページが設定されている。</p>
	観点3	<p>分量B5判195ページ。</p> <p>教材数C47教材、Cを扱う数が多め。他A20・B23・D21と均等配分。</p> <p>いじめ問題を、いじめを正面から取り上げている教材と、生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。</p>
	観点4	<p>巻頭には、「道徳科って何を学ぶの?」を見開き2ページと「教科書の使い方」「心の成長を目指して」を示している。巻末には、各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けしている。</p> <p>「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」を設定している。</p> <p>教材名の上に色別の内容項目を表す番号を示し罫線、等で色分けしている。</p>
	観点5	<p>1年間の成長を振り返る「3年生の心の成長を振り返りましょう」を設けている。3年間の道徳の授業について振り返る「私の道徳記録」も設けている。</p>